

令和8年度事業計画

当財団では設立以来32年、「ARTS FOR EVERYONE（芸術を地域の方に、地域の方のために）」をスローガンに、心豊かで潤いと活力に満ちた県民生活を実現するため、文化芸術に関する各種事業を積極的に推進することにより県民文化の育成と振興を図るとともに、県民に広く文化活動の場を提供することにより自主的な活動を支援し、人と人の交流、地域の活性化を図ってきました。

これまでの文化芸術及び公立文化施設を取り巻く環境の変化を踏まえ、そして、新型コロナ禍での経験と新型コロナ禍後を見据え、令和4年9月に「(公財)鳥取県文化振興財団の6つのミッション」を策定し、併せて県民文化会館及び倉吉未来中心の「公立文化施設」としての目指す方向を「3つのミッション」として明確にしました。

県民文化会館及び倉吉未来中心は、実演芸術の鑑賞・情報発信、館・館連携による地域への実演芸術鑑賞機会の創出をはじめ、舞台関係者、鑑賞者や地域の人々との交流が盛んに行われることにより、地域での新たな文化芸術理解者・支援者・実演者の創出や地域の魅力と賑わいが生まれる機能を担っていきます。

また、両館は、それぞれの地域の文化芸術を豊かに維持・発展するという大切な「公共の役割」を担い、市町村・市町村劇場及び地域の実演家・団体等と密接に結びついて、地域の方々に文化芸術、とりわけ実演芸術が日常生活の一部としてすぐそこにあるような環境づくりに取り組んでいきます。

管理運営の基本的な考え方

当財団は、県民文化会館及び倉吉未来中心の設置目的を踏まえ、県民文化会館では県民の文化振興を引き続き図るため、32年の実績を生かし、施設と人材を総体として捉えた取組により『とっとりの未来をつくる』文化芸術拠点を実現します。また、倉吉未来中心では、『人と人との交流を促進し、地域の活性化を図る』ことをより具現化するために、中部地域に活力を与える「まちづくり」を目指すとともに、地域で暮らす人々、とりわけ子供たちの感性を醸成し、豊かな心を育むことにより、次世代を担う「ひとづくり」に取り組みます。

これらの実現に向けては、財団スローガンである「ARTS FOR EVERYONE ～アートでつながる心うるおう 未来のために～」をもとに最重点の取組施策として、次のとおり『ライブ・アート・プロジェクト』を発動し、「財団の6つのミッション」と「施設の3つミッション」に基づき各種取組を実践します。

実演芸術の活動で活気あふれ、アートが寄り添い、アートが思い出をつくる「新しい広場・地域(広域)拠点型劇場」の実現を目指し、地域に求められる「劇場・音楽堂」として、「貸し施設機能」だけでなく「上演機能」を兼ね備え、地域の文化芸術の振興を図るに十分な施設機能の発揮と専門人材の育成を行います。

そして、「新しい広場」、「社会参加の機会を開く基盤」として、地域における活力源、地域の誇り、コミュニティづくりを果たす施設（劇場）運営を行っていきます。

ARTS FOR EVERYONE

～アートでつながる 心うるおす 未来のために～

とっとり ひと・まち元気！ライブ・アート・プロジェクト

令和3年度より、鳥取という地域をステージに、アウトリーチを事業の基軸として、第一線で活躍するアーティストが劇場に集い、劇場から地域へ、そして全国へ質の高い文化芸術を創造・発信し、アートとともに人々が集い、人々に感動と希望をもたらし、人々の創造性を育み、人々が絆を形成するための環境づくりを目指します。

【財団の6つのミッション】

mission 01 とどける	mission 02 つくる	mission 03 ひろげる
優れた実演芸術の鑑賞の場を提供	県内外に実演芸術を創造・発信	実演芸術のすそ野を拡大
全国トップクラスの機能を備えた劇場を活用し、国内外の優れた実演芸術を鑑賞する場を幅広く提供します。	新たに実演芸術作品をプロデュースし、県内外に発信します。	次世代及び潜在的観客層への普及教育を図り、実演芸術に親しむ観客の拡大を図ります。

mission 04 つなげる	mission 05 こたえる	mission 06 ささえる
地域全体の文化芸術力を向上	地域の課題に対処	劇場・音楽堂への支援
市町村・市町村劇場や地域の実演家・団体と連携し、地域全体の文化芸術力の向上を図ります。	実演芸術の力を活用し、社会的課題の解決に取り組みます。	市町村劇場とのネットワークを強化し、継続的な活動と劇場関係者を支えます。

【施設の3つのミッション】

mission 01 県民に愛され、誇りとなる劇場づくり	mission 02 拠点機能の強化	mission 03 アートの社会的効用の発揮
「個別・個人の体験」から「共有できる思い出づくり」へそして「呼吸をしている劇場へ」	「こっちに来て」から「そっちに行く」へそして「創客（顧客の創造）」へ	「近い人」から「遠い人」へそして「共感と信頼」へ
実演芸術に関わる鑑賞、学習、参加、創造など多彩なプログラムを企画し、多様な事業が相互に作用することで多目的に人が集い賑わう劇場、そして「 県民文化会館 があつてよかった」「 倉吉未来中心 があつて誇らしい」と多くの県民に言っていただけ、愛され、誇りとなる劇場を目指します。	県立施設の重要ミッションとして、第一に、市町村劇場や多様な文化の担い手のリーディング劇場となることを目指します。第二に、ゾーン全体が求心力を持つことで、東西に長い鳥取県のどこからでも訪れたいゾーンづくりを目指します。そのためにも市町村・市町村劇場との更なる連携に努め、これまで以上にアウトリーチを展開し、財団が地域と実演芸術でつながることにより、身近に実演芸術の花を咲かせることを目指します。	劇場法の条文にも規定されているように、地域コミュニティの創造と再生が劇場機能に求められています。「for ART（アートのため）」の事業だけでなく「by ART（アートによる）」事業も、すなわちアートが手段となり社会的効用を発揮する事業への社会的要請が高まっています。教育、福祉、観光、経済など、アートの持つ力で様々な分野の地域課題に積極的に取り組みます。

管理運営業務の基本方針

○県民文化会館

文化芸術の地域(広域)拠点型劇場として、利用者の安心・安全・公平な利用機会の確保を基本とし、そのための対応として重点項目を設定し、実践します。

利用者・来館者の安心・安全	利用者(県民)目線
法令の遵守	効率的な施設の管理運営
SDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標) に関する取組	

○倉吉未来中心

利用者の安心・安全・公平な利用機会の確保に加え、より快適に施設を利用いただけるよう以下の重点柱を設定し実践します。

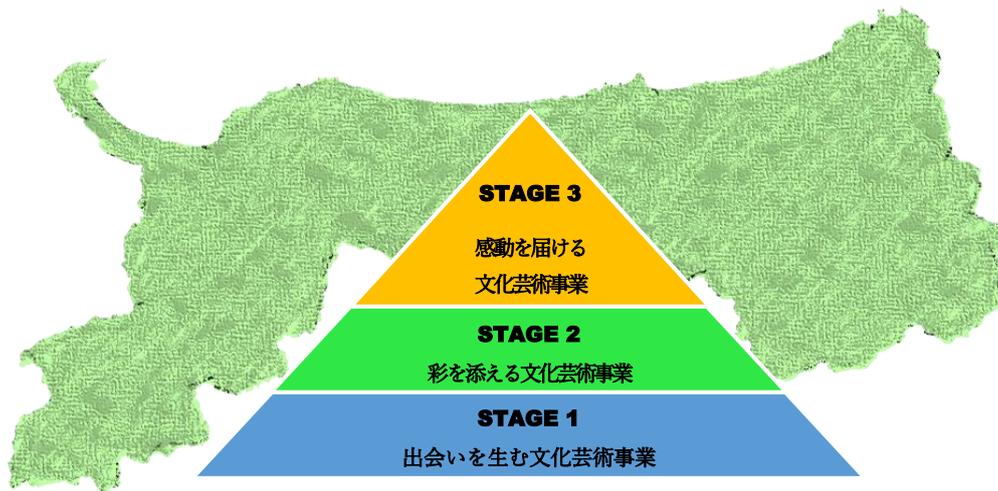
利用者の安心・安全	利用者の視点に立ったサービス提供
公平・公正な管理運営と法令順守	効率的な施設の管理運営
施設の魅力を最大限に活用	安定した自己財源の確保
SDGsの推進	

文化芸術事業の基本方針

文化芸術事業の実施にあたっては、地元活動者と協働して高質な作品創りとその発信を行うプロデュース事業、施設の特徴を活かした多彩なジャンルの鑑賞プログラム、市町村劇場との連携により身近な会場で鑑賞体験を行う市町村連携・交流プログラム、次代を担う子どもたちに実演芸術の素晴らしさに触れてもらう教育普及プログラムなどを展開し地域(広域)拠点型劇場としての役割に向けた取組を行います。

これらを踏まえ、実施する文化芸術事業を体系化することで、目的と目標を明確化させ、計画的かつ重層的な戦略のもと県内各市町村や文化芸術団体等と連携し、県民の誰もが文化芸術を鑑賞、体験できる機会を創出します。

特に、新型コロナ禍から重点的に取り組むアウトリーチ事業を継続的に展開していきます。



STAGE 1 出会いを生む文化芸術事業の展開

【目的】 県内市町村や文化芸術団体等と連携協力のもと、これまであまり縁の薄かった方々にも新鮮で笑顔溢れる実演芸術を届けることを目的とした事業を展開します。

- 【目標】**
- ・初めての实演芸術体験機会の創出を狙い、誰でもが鑑賞し、体験できる機会を設けます。
 - ・若年層や家族が気軽に参加できる機会を作ります。

STAGE 2 彩を添える文化芸術事業の展開

【目的】 県内市町村や文化芸術団体等と綿密な連携のもと、心地よい実演芸術に触れることにより、ライフスタイルに彩と夢を届ける事業を展開します。

- 【目標】**
- ・県民が多彩な実演芸術に触れ、魅力ある事業を体験できる機会と環境を整えます。
 - ・実演芸術をより楽しみ深めるためのアウトリーチ事業を行います。
 - ・将来を担う実演芸術活動者の発掘と育成を図ります。

STAGE 3 感動を届ける文化芸術事業の展開

【目的】 基幹ホールの優れた機能とこれまで培ってきた財団の専門的ネットワーク及び技術のもと、鑑賞・参加される方々に高質な実演芸術を満たすことにより大きな感動を届けます。

- 【目標】**
- ・県民を魅了する良質な舞台作品の鑑賞機会を提供します。
 - ・次世代を担う若手芸術家・活動者との協働により高質な創造作品づくりを行います。
 - ・将来を担う実演芸術活動者の発掘と育成を図ります。

ARTS FOR EVERYONE ~アートでつながる 心うるおう 未来のために~ 「とっさりひと・まち元気! ライブ・アート・プロジェクト」

鳥取という地域をステージに、第一線で活躍するアーティストが会館に集い、
会館から地域へ、そして、全国へ質の高い文化芸術を創造・発信し、
アートとともに人々が集い、人々に感動と希望をもたらし、人々の創造性を育み、
人々が絆を形成するための環境づくりを目指します。

文化芸術が持つ3つの価値（基本的価値、社会的価値、経済的価値）を踏まえ、とりわけ、実演芸術を基軸に置いた「ひと」と「まち」の創造・創出という公共性・効用性を最大限発揮し、「文化芸術が日常生活の一部」となるよう、財団スローガンである「ARTS FOR EVERYONE ~アートでつながる 心うるおう 未来のために~」をもとに、最重点の取組施策として『ライブ・アート・プロジェクト』を発動します。これは、鳥取という地域をステージにアウトリーチを事業の基軸として、第一線で活躍するアーティストが会館に集い、会館から地域へ、そして全国へ質の高い文化芸術を創造・発信し、アートとともに人々が集い、人々に感動と希望をもたらし、人々の創造性を育み、人々が絆を形成するための環境づくりを目指して「とっさりひと・まち元気! ライブ・アート・プロジェクト」を始動しています。これは実演芸術でしか体験できない「リアルな感動」を通して、文化芸術が持つ基本的価値を地域に届け、地域アイデンティティとして地域の活性化を目指すものです。地域によって商習慣、文化資産、行動習慣が異なることから、それぞれの地域性を踏まえて「トライ&エラー」と「スクラップ&ビルド」で事業を企画・立案・実施するとともに、1事業(プログラム)は企業(店舗)の1商品と同じであるとの認識のもと、社会的成果(アウトカム)に向けた全事業プログラム(=事業戦略)を構築することが必要です。ミッションの達成を考える上での事業分野で特に考慮すべきポイントは、“事業のブランド化からホールのブランド化へ”“非日常から発見、楽しみを得るホールへの進化”の2つです。

このポイントを踏まえた事業分野におけるビジョンを設定すると、次のとおりです。

- ① 実演芸術のプレゼンスを高める劇場を目指します。
- ② 優れた実演芸術作品を継続的に創造・発信し、県内外での認知度を高めます。
- ③ 多種多様な人が劇場に集い、親しまれる劇場を目指します。
- ④ 国内外の良質で多様な公演の鑑賞機会の提供と質の高いサービスを実施します。
- ⑤ 実演芸術により豊かな感性を育み、次世代への継承・発展を図る劇場を目指します。
- ⑥ ファミリー・プログラムを充実させ、ファミリー層の来館を促進します。
- ⑦ 子どもを対象とした事業を積極的に展開し、人材育成・発展の新しい広場を目指します。
- ⑧ アウトリーチを始め各種事業を市町村及び市町村劇場とともに推進します。
- ⑨ 市町村・市町村劇場とともに、広域的な文化振興を図る劇場を目指します。
- ⑩ 県内の市町村・市町村劇場と協働して巡回公演、ワークショップ等の拡大を図ります。
- ⑪ 地域の課題に積極的に応え、地域に貢献する劇場を目指します。
- ⑫ 行政や関係団体と連携しながら、地域のニーズを把握し、課題解決を図ります。
(地域活性化、人口減、子育て支援、教育・多文化共生、福祉、観光 等)

事業実施にあたっては、「財団の6つのミッション」及び上記ビジョンを踏まえ、事業を体系化(STAGE 1から3に重層化)して、目的と目標を明確にし、計画的かつ重層的な戦略のもと、県内各市町村・市町村劇場や実演家・文化芸術団体等と連携して、県民の誰もが文化芸術を鑑賞・体験できる機会を創出します。

事業概要

地域(広域)拠点型劇場としての役割と機能を明確にし、財団として公益性を果たすための様々なジャンルの事業を実施します。

1 プロデュース事業	財団ミッション①-⑥	STAGE 1 2 3
鳥取チェンバーオーケストラ事業 (1公演)	ミッション①②③	STAGE 1 2 3
U-18シアタープロジェクト Act3 本公演 (2公演)	ミッション②③⑤	STAGE 2 3
バレエ「赤毛のアン」公演 (県内1公演、県外2公演)	ミッション①②③④⑤	STAGE 1 2 3
とっとり伝統芸能フェスティバル (1公演)	ミッション③④⑤	STAGE 2 3
2 鑑賞プログラム	財団ミッション①-⑥	STAGE 1 2 3
滝川鯉昇独演会 in 鳥取&米子 (2公演)	ミッション①③	STAGE 3
茂山千五郎家「こどもの日だよ!みらい大笑い劇場」 (1公演)	ミッション①②③	STAGE 1 2 3
木ノ下歌舞伎『心中天の網島』アセビリティ特別バージョン (1公演)	ミッション①③⑤	STAGE 3
反田恭平&ジャパン・ナショナル・オーケストラ 2026 (1公演)	ミッション①③	STAGE 3
辻彩奈&阪田知樹デュオリサイタル 2026 (米子公演) (1公演)	ミッション①③	STAGE 3
大阪フィルハーモニー交響楽団ニューイヤーコンサート 2027 (仮) (1公演)	ミッション①③④	STAGE 3
舞踊「ジゼルのあらすじ」&「Folklores」	ミッション①③	STAGE 3
岡山フィルハーモニック管弦楽団 第91回定期演奏会 (1公演)	ミッション①③	STAGE 3
特別共催事業(マスコミ/一般)	ミッション①③	STAGE 3
3 市町村連携・交流プログラム	財団ミッション①-⑥	STAGE 1 2 3
実演芸術市町村連携公演事業 (8回程度)	ミッション③⑤⑥	STAGE 2
4 教育普及プログラム	財団ミッション①-⑥	STAGE 1 2 3
芸術鑑賞教室 (10回程度)	ミッション③	STAGE 1
児童生徒を対象とした文化芸術事業 (30回程度)	ミッション③	STAGE 1
劇場へようこそプロジェクト	ミッション③	STAGE 1
5 人材育成プログラム	財団ミッション①-⑥	STAGE 1 2 3
舞台技術講座 (3回程度)	ミッション④⑤⑥	STAGE 1 2
鳥取県劇場等職員セミナー (1回)	ミッション④⑤⑥	STAGE 1 2

事業内容

1 プロデュース事業 【令和7年度実績：4事業】

(1) 鳥取チェンバーオーケストラ (TCO) 第7回定期公演

国内外で活躍する県出身・在住のプロ奏者で構成する「鳥取チェンバーオーケストラ」の第7回定期公演。

開催日	会場	備考
令和8年11月8日(日)	とりぎん文化会館 梨花ホール	共演：調整中

(2) U-18シアタープロジェクト Act 3 「(仮)ゼロは段ボールにおさまるか」

県内の18歳以下が創作した台本(脚本)を同じく県内18歳以下が演じる新作演劇公演の上演。

開催日程	会場	備考
令和8年9月20日(日) 21日(月・祝)	エースパック未来中心 小ホール	2回公演

(3) バレエ「赤毛のアン」公演

令和6年度創作バレエ作品として上演した「赤毛のアン」を改訂・再編成し上演。

開催日	会場	備考
令和8年8月30日(日)	とりぎん文化会館 梨花ホール	県外主催者による公演 高知県 11月15日(日) 石川県 12月20日(日) ※各主催者が制作し、地元出演者を選考。

(4) とっとり伝統芸能フェスティバル

地域に連綿と受け継がれ、その地に根付く伝統芸能を華やかなステージで披露。

開催日	会場	備考
令和8年6月14日(日)	大御堂廃寺跡特設ステージ	※とりアート企画事業と連携・協働

2 鑑賞プログラム 【令和7年度実績：8事業9公演（特別共催事業除く）】

(1) 瀧川鯉昇独演会 in 鳥取&米子

開催日	会場	備考
令和8年4月18日(土)	とりぎん文化会館 小ホール	
令和8年4月19日(日)	米子市淀江文化センター 大ホール	共催：米子市文化財団

(2) 茂山千五郎家「こどもの日だよ！みらい大笑い劇場～狂言ってなに？」

開催日	会場	備考
令和8年5月5日(火・祝)	エースパック未来中心 大ホール等	

(3) 木ノ下歌舞伎『心中天の網島』アクセシビリティ特別バージョン

開催日	会場	備考
令和8年7月26日(日)	エースパック未来中心 大ホール	

(4) 反田恭平&ジャパン・ナショナルオーケストラ 2026

開催日	会場	備考
令和8年9月15日(火)	とりぎん文化会館 梨花ホール	共催：新日本海新聞社

(5) 辻彩奈 & 阪田知樹 デュオ・リサイタル 2026 (米子公演)

開催日	会場	備考
令和8年9月22日(火・休)	米子市公会堂 大ホール	共催：米子市文化財団

(6) 大阪フィルハーモニー交響楽団ニューイヤーコンサート2027(仮)

開催日	会場	備考
令和9年1月上旬(調整中)	エースパック未来中心 大ホール	

(7) 舞踊「ジゼル」のあらすじ & 「Folklores」

開催日	会場	備考
令和9年2月28日(日)	とりぎん文化会館 梨花ホール	

(8) 岡山フィルハーモニック管弦楽団 第91回定期演奏会

開催日	会場	備考
令和9年3月7日(日)	米子市公会堂大ホール	【主催】岡山文化芸術創造 【共催】米子市文化財団

(9) 特別共催事業

ア 報道機関（マスコミ）共催 【令和7年度実績：6事業】

報道機関との共催により、公共性の高い優れた鑑賞公演を実施。

※現時点の特別共催事業は以下のとおり

開催日	公演名	会場
令和8年5月23日（土）	日本海新聞発刊50周年記念事業 南こうせつ&森山良子スペシャルコンサート	とりぎん文化会館 梨花ホール
令和8年7月20日（月・祝）	舞台「虹のかげら～もうひとりのジュディ」	とりぎん文化会館 梨花ホール

イ 一般共催 【令和7年度実績：14事業】

一般団体（芸術団体・文化芸術関連NPO団体など）との共催により、優れた鑑賞公演を実施。

※現時点の特別共催事業は以下のとおり

開催日	公演名	会場
令和8年12月13日（日）	県民による第九鳥取公演	とりぎん文化会館 梨花ホール

3 市町村連携・交流プログラム

実演芸術市町村連携公演事業 【令和7年度実績：5事業】

ホールでの鑑賞機会が少ない市町村在住者を対象に、市町村と協働して、質の高い舞台芸術の鑑賞機会を提供。

開催日	市町村	事業内容
調整中	(調整中) 八頭町、琴浦町、江府町、日南町、 湯梨浜町、岩美町、境港市	鳥取チェンバーオーケストラ (TCO) カルテット ほか

4 教育普及プログラム

(1) 芸術鑑賞教室 【令和7年度実績：11校】

高等学校及び特別支援学校の生徒を対象とした音楽・演劇・伝統芸能等の芸術鑑賞公演。

開催日	実施校【会場】	公演名
調整中	調整中（10校程度）	調整中

(2) 児童生徒を対象とした文化芸術事業 【令和7年度実績：29校】

小中学校の児童生徒を対象とした音楽・演劇・伝統芸能等の芸術鑑賞公演。

開催日・実施校	公演名
調整中（30校程度）	調整中

(3) 劇場へようこそプロジェクト 【令和7年度実績：4校258名】

小学校5年生をホールに招き、質の高い実演芸術に触れるとともに劇場での鑑賞体験の場を提供する。

開催日	会場	備考
令和8年6月24日（水）	エースパック未来中心 大ホール	NHK 交響楽団、鳥取チェンバーオーケストラ メンバーによる弦楽四重奏 参加校：5校（216名）予定

5 人材育成プログラム 【令和7年度実績：2事業】

(1) 舞台技術研修会（舞台技術支援）

施設・専門設備解説及び舞台基礎解説や照明、音響設備の操作等の体験型研修会。

ア 鳥取大学地域学部学生へ舞台基礎研修会（見学及び実技）

開催日	会場	備考
年度下期	とりぎん文化会館 小ホール	

イ 東部地区高等学校演劇部に関わる舞台技術研修会

開催日	会場	備考
年度上期	とりぎん文化会館 梨花ホール	

ウ 公立文化施設に関わる舞台技術研修会

開催日	会場	備考
年度内	とりぎん文化会館 小ホール	

(2) 鳥取県劇場等職員セミナー

鳥取県文化施設協議会と連携して新たに開催。県内公立文化施設で企画制作・広報、舞台技術・施設運営を担う職員を対象に、各種スキルの向上やノウハウ習得、職員の専門性向上、ネットワーク構築のための場を提供。

開催日	会場	備考
令和9年1月下旬から2月中旬の2日間	エースパック未来中心	

公益財団法人：事業・組織体系別

公1：文化芸術に関する各種の事業を推進することにより、県民文化の育成と振興を図るとともに、県民に広く文化活動の場を提供することにより、自主的な活動を支援し、人と人との交流、地域の活性化を図るための文化芸術振興事業

当財団は、文化芸術に関する各種の事業を推進することにより、県民文化の育成と振興を図るとともに、県民に広く文化活動の場を提供することで、自主的な活動を支援し、もって心豊かで潤いと活力に満ちた県民生活の実現に寄与することを目的としており、この目的を達成するために、「文化芸術事業の基本方針」に掲げる重要項目・事業体系を踏まえて、その実現のための各種取り組みを実践し、文化芸術事業を推進します。

また、「管理運営業務の基本方針」に掲げる重要項目及び上記を踏まえつつ、「文化芸術振興を図る拠点施設」である鳥取県立県民文化会館及び「人と人との交流を促進し、地域の活性化を図る」ための鳥取県立倉吉未来中心の管理運営を行い、施設の設置目的や特性を活かした文化振興に関する事業を積極的に実施するとともに、県民に広く活動の場を提供します。

なお、施設の管理運営に関しては、指定管理者に指定されており、鳥取県と管理運営に関する協定等を締結の上、これを遵守していきます。

1 文化振興財団事業【予算額 85,799 千円】

(1) 鑑賞プログラム (予算額 46,588 千円)

STAGE 3

ア 鑑賞公演

県内の文化芸術振興において鑑賞機会の提供及び鑑賞者の育成は不可欠であり、そのためにも上質な舞台公演鑑賞の機会を県民に提供していくことが重要です。全国トップクラスの機能を備えた県民文化会館梨花ホール、倉吉未来中心大ホール、その他県内の文化施設を活用し、指定管理事業に加え国内外の優れた舞台芸術を鑑賞する場を幅広く提供します。

	事業名 (公演名)	開催時期	開催場所	目標入場者数
1	瀧川鯉昇独演会 in 鳥取&米子	4月18日(土)	とりぎん文化会館 小ホール	300人
		4月19日(日)	米子市淀江文化センター 大ホール	440人
2	茂山千五郎家「こどもの日だよ！みらい大笑い劇場～狂言ってなに？」	5月5日(火・祝)	エースバック未来中心 大ホール等	775人
3	木ノ下歌舞伎『心中天の網島』アクセシビリティ特別バージョン	7月26日(日)	エースバック未来中心 大ホール	700人
4	反田恭平&ジャパン・ナショナルオーケストラ 2026	9月15日(火)	とりぎん文化会館 梨花ホール	1,600人
5	辻彩奈 & 阪田知樹 デュオ・リサイタル 2026 (米子公演)	9月22日(火・休)	米子市公会堂 大ホール	795人
6	大阪フィルハーモニー交響楽団ニューイヤーコンサート 2027 (仮)	令和9年1月上旬 (調整中)	エースバック未来中心 大ホール	1,272人
7	舞踊「ジゼルのあらすじ」&「Folklores」	令和9年2月 28(日)	とりぎん文化会館 梨花ホール	730人
8	岡山フィルハーモニック管弦楽団 第91回定期演奏会	令和9年3月7日 (日)	米子市公会堂大ホール	790人
8事業9公演 (東部3公演、中部3公演、西部3公演)				7,402人

イ 特別共催事業

(ア) 報道機関(マスコミ) 特別共催事業 (10事業程度)

民間機関が実施する公共性の高い優れた鑑賞公演に対し、当財団が共催することで県民の鑑賞機会を増やすことを目的とします。

(イ) 一般団体特別共催事業（5事業程度）

一般団体（芸術団体・文化芸術関連NPO団体など）が実施する優れた鑑賞公演について当財団が共催することで、財団のミッションにある「団体の自主的な活動の支援」として、県民に優れた実演芸術公演を多く提供し、鑑賞機会を増やすことを目的とします。

(2) とりアート実行委員会等事務局（県補助事業：第24回鳥取県総合芸術文化祭・とりアート2026）

STAGE 1

STAGE 2

STAGE 3

（予算額 29,211 千円）

鳥取県からの補助金を受け、鳥取県唯一の文化芸術の祭典として「アートが花開く、創造性と活力に満ちた鳥取県」の実現に向けて、誰もが文化芸術に親しむことができる環境を整えるとともに、県内の文化芸術の活性化を図り、次世代の文化芸術を担う人材を育成することを目的とし、令和8年度以降においても、専門性を持つ財団職員により実行委員会事務局の運営を行います。

(3) 教育普及プログラム（教育事業）（県補助事業：予算額 10,000 千円）

ア 芸術鑑賞教室

高等学校及び特別支援学校の生徒、教職員等を対象に、音楽・演劇・伝統芸能等、さまざまな分野の芸術鑑賞公演を開催します。文化施設や学校施設等において優れた舞台芸術を鑑賞する機会を等しく提供することで、次世代を担う青少年の豊かな情操を養い、健全な育成に資することを目的とします。併せて青少年の文化芸術に対する関心を高めることで、将来的な文化芸術ファンの開拓に繋げ、本県のさらなる文化振興を図ります。

実施回数：10回程度
会場：県内高校、特別支援学校
運営体制：鳥取県教育委員会と共催

イ 児童生徒を対象とした文化芸術事業

小中学校及び特別支援学校の児童・生徒、教職員を対象に、本県の文化振興の一環として、芸術鑑賞の機会が比較的少ない小規模校等の児童生徒に向けた上質な実演芸術の鑑賞機会を提供することで、豊かな情操を養います。また、学校の理解・協力を得ながら保護者や地域住民等と一緒に鑑賞できる環境を整えることで、文化芸術の魅力を地域に波及させます。

実施回数：30回程度
会場：県内小中学校、特別支援学校
運営体制：各市町村教育委員会

2 県民文化会館管理運営事業【予算額 442,533 千円】

(1) 施設の貸与事業（公益目的事業に係る施設貸与：50.0%見込み）

ア 管理事務

- (ア) 施設設備の維持管理に関すること
- (イ) 利用の許可に関すること
- (ウ) 利用者の応接に関すること
- (エ) 管理状況の報告に関すること

イ 利用料徴収事務

- (ア) 利用料の調定に関すること
- (イ) 利用料の収納及び還付に関すること
- (ウ) 利用状況の報告に関すること

(2) 地域の賑わい創出事業（予算額 3,286 千円）

STAGE 1

ア 県民文化会館にぎわい事業

財団協賛パートナー企業と連携・協働し、文化芸術による支援者同士の交流が生まれる機会を創出するとともに、会館周辺の施設等と連携・協働し、人が集うことを目的に実施します。

- (ア) 財団支援者等との実演芸術交流
- (イ) 図書館、公文書館、県民文化会館他事業との連携企画（カフェ施設コンサート等）

イ けんぶんファミリープログラム

会館が地域にとって身近で親しみやすい施設となることを目指し、施設の特性を活かしながら誰もが文化芸術に親しむ環境を生み出します。体験的学習活動等休業日や学校の長期休暇等に実施することで、次代を担う子どもたちが参加しやすい環境を整えます。

(ア) アート SQUARE 夢空間

県民文化会館イベントホール等を利用し、気軽に様々なジャンルを鑑賞できる場を提供するとともに、親子で気軽に参加鑑賞ができるワークショップ形式を取り入れた小規模公演等を実施します。

(イ) ホール探検ツアー

ホールや舞台芸術への関心・意欲の醸成を図ることを目的として、親子や若年層を対象としたホール探検ツアーを実施し、普段は見ることや立ち入ることの出来ない各種の舞台装置や機材の操作体験、会館や舞台芸術を下支えする裏方スタッフの役割などの解説等を行います。

(ウ) みんなのピアノ聴き弾きくらべコンサート

舞台芸術への関心や意欲を向上することを目的として、会館が保有している3種のグランドピアノを活用してそれぞれの特色や魅力を感じる参加・体験型の事業を実施し、専門家による説明やミニコンサートによる生の舞台芸術に触れる機会を提供します。

(3) 文化芸術・舞台技術支援（文化団体等）

ア 企画職員及び舞台技術職員による助言と支援

(4) プロデュース事業（予算額 49,317千円）

鳥取県の特色ある地域文化をもとに、国内外で活躍するプロフェッショナルのサポートを受け、地元活動者と協働してオリジナル舞台作品を制作します。作品の制作過程を通して、出演者・スタッフ等の協働推進者をはじめ、来場者等幅広く県民へ、作品内容やジャンルの魅力を多面的に伝える工夫によって、鳥取県の特色ある地域文化と文化芸術の魅力を発信します。

さらに、制作した作品の再演等や構築されたネットワークの継続的活用、ノウハウの波及効果を追求します。

また、事業を通して県内活動者の創作に対する意欲を高めることで、創造性豊かな地域づくりの推進、県内文化芸術の活性化を図ります。

ア 音楽

《TCO 鳥取チェンバーオーケストラ事業》

STAGE 1

STAGE 2

STAGE 3

国内外で活躍する県出身・在住のプロ奏者で構成する「鳥取チェンバーオーケストラ」による「定期公演」を軸に、若手のアーティストを育成する「室内楽セミナー」や学校向けに弦楽器・弦楽アンサンブルの魅力を届ける「鳥取県芸術鑑賞教室」等の事業と重層的に連携して行います。併せて、奏者が主体となって企画する公演を支援（会場費補助・広報協力）し、事業発展と合奏団の認知を図ります。

《第7回定期公演》

日程：令和8年11月8日（日）

会場：とりぎん文化会館 梨花ホール

イ 演劇

《U-18シアタープロジェクトAct 3「(仮)セロは段ボールにおさまるか」》

STAGE 2

STAGE 3

県内の18歳以下が創作した台本（脚本）を同じく県内18歳以下が演じる新作演劇公演の第3弾。令和6年度「演劇台本書き方講座」では3本の台本が完成し、令和7年度には、公開リーディング公演で上演する作品1本を選定し、出演者オーディションを実施しました。

過去のU-18シアタープロジェクトに携わった人材を活用し、地域においてさらなる後進の育成を図り、県内における演劇の発展と発信を目指します。

《本公演》

日程：令和8年9月20日（日）、21日（月・祝）

会場：エスパック未来中心 小ホール

令和7年度準備内容

○脚本オーディション&リーディング公演（上演作品の選定）

○出演者オーディション

令和6年度準備内容

○演劇台本書き方講座（オリエンテーション、講座（全14回））

ウ 舞踊

《バレエ「赤毛のアン」公演》

STAGE 1

STAGE 2

STAGE 3

令和6年度に制作上演したバレエ「赤毛のアン」を、令和7年度は鳥取県から発信する持続可能な作品制作の取り組みの一つとして、小作品化し県内各地でアウトリーチ事業を展開しました。

令和8年度は、令和6年度の創作バレエを改訂・再編成し上演します。また県外公演（高知県（11月15日）、石川県（12月20日））も予定しています。

また、活動者だけでなく県内の人材育成も目的とし、県内のバレエ講師がアウトリーチ作品の制作に深く関わる役割を担うことで、鳥取県の人材（ダンサー及び指導者）の更なる技術的成長と出演機会・創作機会の創出へと繋がります。

日程：令和8年8月30日（日）

会場：とりぎん文化会館 梨花ホール

エ 古典・伝統芸能

《とっとり伝統芸能フェスティバル》

STAGE 2

STAGE 3

今まで財団で取り組んできた「鳥取県青少年郷土芸能の祭典」と鳥取県主催の「とっとり伝統芸能まつり」を令和6年度より統合し、地域に根付く郷土芸能の伝承・発信を主軸とし新たな事業展開を行うことで地域独自の文化継承に寄与するとともに、その素晴らしさを広く県民に伝え、郷土芸能への興味・関心を引き出すことを目的とします。

日程：令和8年6月14日（日）

会場：大御堂廃寺跡 特設ステージ

※とりアート企画事業と連携・協働

(5) 市町村連携・交流プログラム（予算額 3,647 千円）

STAGE 2

ア 実演芸術市町村連携公演事業

本格的なホールでの鑑賞機会が少ない市町村在住者を対象に、市町村と協働して、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供することで、新規鑑賞者に開拓、潜在的な鑑賞者を掘り起こし、地域の文化芸術の発展と地域の活性化を図ります。また、協働を通じて、事業実施に伴うノウハウを伝えるとともに、文化芸術事業への関心を高め、市町村独自の取組の充実に繋がります。

実施回数：年8回程度

会場：県内市町村ホール等

運営体制：市町村、各市町教育委員会と共催

(6) 教育普及プログラム（普及事業）（予算額 1,170 千円）

STAGE 1

ア 劇場へようこそプロジェクト

県内小学校の5年生を対象に、ホール等の文化施設を会場として鳥取県にゆかりのあるアーティストによる音楽・舞踊・演劇・伝統芸能等の鑑賞公演を開催する。鳥取県に住む子どもたちが「一度はホールで実演芸術を観賞したことがある」という環境づくりを目的とします。

日程：令和8年6月24日（水）

会場：エスパック未来中心 大ホール

(7) 人材育成プログラム (予算額 1,340 千円)

STAGE 1

STAGE 2

県内の公立文化施設（県文協）、教育機関（大学や高校演劇部）を対象とした施設・専門設備解説及び舞台基礎解説や照明音響の操作を含む体験型研修会を実施します。

また、鳥取県文化施設協議会と連携して、県内公立文化施設で企画制作・広報、舞台技術・施設運営を担う職員を対象に、各種スキルの向上やノウハウ習得、職員の専門性向上、ネットワーク構築のための場を提供します。

ア 舞台技術研修会（舞台技術支援）

実施回数：年3回程度

会場：とりぎん文化会館梨花ホール等

イ 鳥取県劇場等職員セミナー

日程：令和9年1月下旬から2月中旬の2日間

会場：エースバック未来中心小ホール等

(8) 県内公立文化施設及び関係機関等連携事業

ア (公社)全国公立文化施設協会中四国支部委員館

鳥取県の代表館として、支部委員会（年3回）、研修会（業務管理研究会、アートマネジメント研修会、技術職員研修会）、調査・研究のための部会（経営環境部会、事業環境部会、特別部会）に関する事など、各支部委員館と連携して適正かつ円滑に運営します。

[参考] 令和2年2月から県民文化会館館長が（公社）全国公立文化施設協会の副会長に就任。

イ 鳥取県文化施設協議会会長館（事務局事務）

総会の開催、鳥取県劇場等職員セミナーの開催（企画・運営：加盟館によるプロジェクトチーム）など、ネットワークの充実と人材育成に関する事など、各加盟館と連携して適正かつ円滑に運営します。

3 倉吉未来中心管理運営事業【予算額 279,386 千円】

(1) 施設の貸与事業（公益目的事業に係る施設貸与：50.0%見込み）

ア 管理事務

- (ア) 施設設備の維持管理に関する事
- (イ) 利用の許可に関する事
- (ウ) 利用者の応接に関する事
- (エ) 管理状況の報告に関する事

イ 利用料徴収事務

- (ア) 利用料の調定に関する事
- (イ) 利用料の収納及び還付に関する事
- (ウ) 利用状況の報告に関する事

STAGE 1

(2) 未来つながるプロジェクト (予算額 5,543 千円)

「人と人との交流促進及び地域の活性化」という施設の設置目的の達成と、中部地区の文化振興を目指し、継続的に「未来つながるプロジェクト」に取り組む。本プロジェクトでは、実演芸術（舞台芸術）の持つ力や施設の特徴を活かし、これまでの取組を検証・ブラッシュアップしつつ、県立美術館等の周辺施設やアーティスト、活動者、中部地区1市4町、様々な団体や機関とともに、地域活性の礎となる心豊かな「ひとつづくり」と活力ある「まちづくり」を目指します。

ア 将来を担う子供たちへの取組

(ア) キッズプログラム「ハッピースマイルコンサート（インリーチ・アウトリーチ）」年9回程度

出産前から小学生までを対象に、多彩なコンサートや実演芸術体験ワークショップをインリーチ・アウトリーチの両面で開催し、子どもたちと子どもに携わる大人の実演芸術体験の充実を図ります。プログラムは、「ママ・パパ向けプログラム」「乳幼児向けプログラム」「小学生向けプログラム」「福祉連携プログラム」で構成。

イ 交流促進・賑わい創出の取組

(ア) 大人向けプログラム「みらい楽演祭」年2回程度

将来性豊かな地元アーティストをメインに起用し、ホールなどの施設の特色を活かしながら、実演芸術を身近に感じる機会を提供します。

(イ) 施設体験ツアー「ホールたんけんツアー」年1回、「ホールたんけんツアーミニ(仮)」年2回程度

普段は見ることの出来ないホールの裏側の見学や、舞台機器の操作を体験することにより、実演芸術の上演を通じて感動や潤いをもたらすホールの魅力やそこで働く職員の仕事を体験します。

ウ 活動支援の取組

(ア) 未来つながるアーティストプログラム 実践を中心に年2回程度

キッズプログラムやアウトリーチ等、様々なプログラムに対応できるアーティストの育成を目指すプログラム。専門家や経験豊富なアーティストの助言の下、企画力・プロデュース力を身に付け、地域で活躍できる人材を育成します。

(イ) ワークショップCAMP! 年3回

ワークショップの専門人材による指導の下、地域人材を育成しながら、演劇における複合的な要素（共感力、コミュニケーション力、歴史の継承・伝達、多様性の受容等）を活用したワークショップを実施し、地域課題の解決につなげます。

(ウ) 舞台技術ワークショップ 年2回

「舞台」「音響」「照明」などの舞台技術に関する基礎知識の習得を目的とする講座やワークショップを行い、地域の実演芸術を支える人材の育成を目指します。

4 鳥取県文化振興財団文化振興事業基金事業

【予算額 15,195 千円】

鳥取県からの基金造成事業補助金を受け、県民の多様化、高度化する文化への志向に応えるため、文化芸術事業の経費等へ充当し事業を実施します。

収1：県民が広く利用する公の場を提供することにより、県民の様々な活動の場を支援するための事業

指定管理者として、鳥取県から委託を受け、協定書に基づき、県民が広く利用する公の施設の受託管理者として施設の管理運営を行い、施設の貸与について、文化振興に関する目的及び文化を通じた人と人との交流目的以外で、県民の様々な活動の場を提供します。

- 1 鳥取県立県民文化会館の管理運営の受託のうち公益目的事業以外の施設貸与：50.0%見込み
- 2 鳥取県立倉吉未来中心の管理運営の受託のうち公益目的事業以外の施設貸与：50.0%見込み

法人の管理運営

公益財団法人鳥取県文化振興財団の事務・事業の適正かつ円滑な運営を行います。 【予算額 6,478 千円】

- 1 資産の管理に関すること
- 2 評議員会に関すること
- 3 理事会に関すること
- 4 事業計画、報告及び収支予算、決算に関すること
- 5 人事管理、給与関係事務に関すること
- 6 会計経理及び契約に関すること
- 7 関係機関との連絡調整に関すること
- 8 人材育成に関すること
- 9 その他、財団の事務処理に関すること